

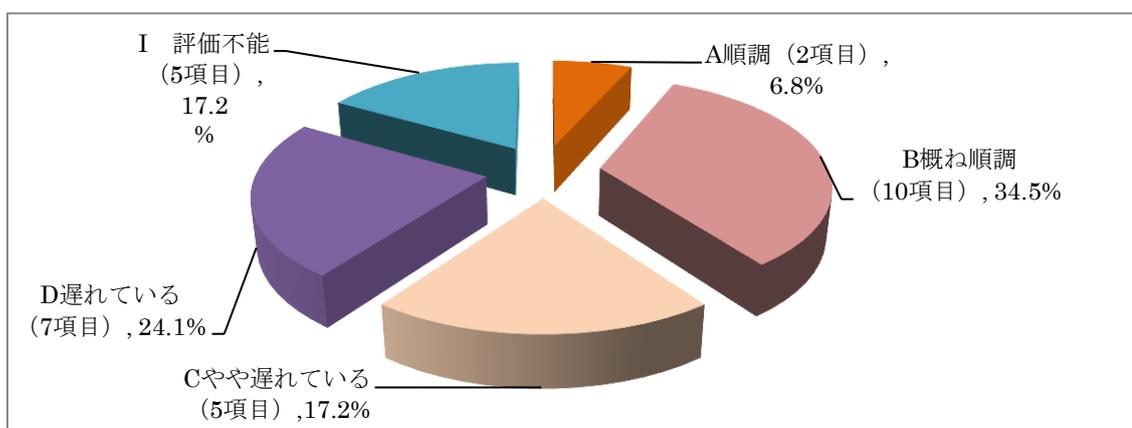
第 2 期宮城県がん対策推進計画における進捗状況及び評価（概要）

平成 30 年 6 月 11 日時点

1 計画の進捗状況

第 2 期宮城県がん対策推進計画の指標で数値目標が定まっているのは、全体目標 3 項目、個別目標 26 項目である。

これらの達成状況は「A（順調）」が 2 項目（6.8%）、「B（概ね順調）」が 10 項目（34.5%）であり、「C（やや遅れている）」は 5 項目（17.2%）、「D（遅れている）」が 7 項目（24.1%）、「I（評価不能）」が 5 項目（17.2%）であった。



2 分野別内訳

分野別にみるとは、全体目標である「75 歳未満の年齢調整死亡率の 20% 減少」は、19.8% まで達している。一方、個別目標については、「患者会等の情報提供」、「小児がん」については目標を達成しているが、「がんの予防」については十分ではない状況である。

分野	項目数	進捗状況				
		A 順調	B 概ね順調	C やや遅れ	D 遅れている	I 評価不能
全体目標	3		1			2
個別目標	26	3	8	5	7	3
がんの予防	13		1	4	7	1
がん検診	1		1			
がん医療・緩和ケア	5		3	1		1
情報提供・相談支援	3	2	1			
がん登録	1		1			
小児がん	1	1				
がん教育	1		1			
社会的な問題	1					1
計	29	3	9	5	7	5

A評価

- ・患者会等の活動の一層の充実
- ・県ホームページによる情報提供団体数の増加
- ・小児がん拠点病院の連携病院数の増加

B評価

- ・75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少
- ・妊娠中の喫煙をなくす
- ・がん検診の受診率の向上
- ・全ての拠点病院におけるチーム医療体制の整備
- ・医療従事者数（人口100万対）を平成24年の全国平均236.8人と同水準以上にする
- ・在宅医療・介護サービス提供体制の構築
- ・活用しやすい相談支援体制の早期実現
- ・がん登録の精度向上
- ・県主催がん予防セミナー開催回数，延べ参加者数の増加

C評価

- ・成人の喫煙率の減少
- ・受動喫煙の機会を有する者の割合の低下（職場）
- ・食塩摂取量の減少
- ・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の低減（女性）
- ・緩和ケア研修会修了した医療従事者数の増加

D評価

- ・受動喫煙の機会を有する者の割合の低下（家庭）
- ・受動喫煙の機会を有する者の割合の低下（飲食店）
- ・喫煙の健康影響に関する知識の普及
- ・野菜摂取量の増加
- ・肥満者の割合の減少（20～60歳代男性）
- ・肥満者の割合の減少（40～60歳代女性）
- ・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の低減（男性）

I評価

- ・全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上
- ・がんになっても自分らしく暮らせる社会の構築
- ・未成年者の喫煙をなくす（12～19歳男性）
- ・専門的な緩和ケアの提供体制の整備と質の向上
- ・がん患者・経験者とその家族等の仕事と治療の両立支援